

《高校演劇ワークショップ&合同公演》

高校演劇ワークショップの歩み——三年間の記録

記録・森 一生

高校演劇は、そのほとんどの活動が「学校内」ということもあって、しかも教室内の活動が中心であるため「空間」創造の実体験がすこぶる難しい。その上、地区大会等の発表大会では、大会のための「分刻み」のスケジュールという流れの中で、照明や音響や舞台の有効な使用方法についてはほとんど実践が出来ないのが現状である。そこで、演劇にとっても重要である『空間プランの創造』について、私も舞台芸術PJは、'06年（平成18年度）からワークショップを中心に高校生のための『演劇教室』を、石狩、後志（小樽、岩内、倶知安）、室蘭（室蘭市、登別市、伊達市）等について行なってきた。以下はその開催記録である。

高校演劇ワークショップ一覧

① '06年（平成18年）1月7日、8日。（北方圏芸術情報センター・ポルト）
「高校生のための『演劇教室』」1
テーマ「演劇における空間プランの創造Ⅱ 高校演劇の照明、音響、舞台とその実際」

② '07年（平成19年）1月9日。（北方圏芸術情報センター・ポルト）
「高校生のための『演劇教室』」2
テーマ「演劇における空間プランの創造とその実際2」

③ '07年（平成19年）3月10日。（小樽市マリンホール）
「高校生のための『演劇教室』」

テーマ「講演、基礎講座、模擬公演などを通して、劇作りの実際を体験する」

④ '07年（平成19年）4月19日。（登別明日日中等学校講堂）

「中学生・高校生のための『演劇教室』」

テーマ「感性を豊かに！ 中学・高校時代に演劇（文化活動）に係ることは――」

⑤ '07年（平成19年）4月14日～5月26日。（までの間の10日）（北方圏芸術情報センター・ポルト）

「西札幌高校演劇ワークショップ」

テーマ「一つの台本（松谷みよ子作『二人のイイダ』を通して『Dorama（表現）』の実際を体験する」

⑥ '07年（平成19年）7月28日。（室蘭市輪西公民館）

「高校生のための『演劇教室』」

全体テーマ「基礎講座を通して、劇作りの実際を体験する」

⑦ '08年（平成20年）1月8日～1月14日。（までの間の7日）（北方圏芸術情報センター・ポルト）

「高校生のための『演劇教室』」3

テーマ「一つの台本（『トミーが三歳になった日』を通して『劇作り』の実際を体験する」

（内容）

A 『トミーが三歳になった日』ができるまで、

B 伊達緑丘高校上演『トミーが三歳になった日』のVTR鑑賞。

C 『劇場ってどんな『場』』森 一生の講演

D 『トミーが三歳になった日』を上演する。（ミーティング、稽古、テクニカルリハ、ゲネプロ、上演本番）